

[004] 九州大学農学部農場年報 : 第4号

<https://doi.org/10.15017/13214>

出版情報 : 九州大学農学部農場年報. 4, 2004-08. 九州大学農学部附属農場
バージョン :
権利関係 :

V. 地域社会への貢献

1. 公開講座

当農場では、本場（原町農場および篠栗果樹園）および高原農業実験実習場において1983年以来1999年までに12回の公開講座を開催しており、2000、2001、2002、2003年には「体験！農業と食料・環境問題」を開講した。概要は以下の通りである。

2000年

- 1) テーマ：体験！農業と食料・環境問題
－農業体験を教育に活かしませんか－
- 2) 講師：農場教官および技官
- 3) 受講者：小中高校教諭および学生（計27名）
- 4) 日程：2000年7月26日～28日（2泊3日の合宿形式）

実施日程

月日	時間	1班	2班
7月26日 (水)	9:00～ 11:10	受付、開講式、実習内容説明、宿泊案内、農場案内	
	11:15～ 12:00	オープニングレクチャー 「日本農業の役割」	
	13:00～ 16:00	目で見える遺伝子 (野菜・花卉研究室)	果樹の繁殖法 (果樹研究室)
7月27日 (木)	9:00～ 12:00	牛乳のすべて (畜産研究室, 高原農場)	環境保全型水田に入る (作物・機械研究室)
	13:00～ 16:00	果樹の繁殖法 (果樹研究室)	目で見える遺伝子 (野菜・花卉研究室)
7月28日 (金)	9:00～ 12:00	環境保全型水田に入る (作物・機械研究室)	牛乳のすべて (畜産研究室, 高原農場)
	13:00～ 16:00	総括・討論会、閉講式	

2001年

- 1) テーマ：体験！農業と食料・環境問題
－農業体験を教育に活かしませんか－
- 2) 講師：農場教官および技官
- 3) 受講者：小中高校教諭（計24名）
- 4) 日程：2001年7月25日（水）～27日（金）

実施日程

月日	時間	1班	2班
7月25日 (水)	9:00～ 11:10	受付、開講式、実習内容説明、宿泊案内、農場案内	
	10:30～ 11:20	オープニングレクチャー 「日本農業の役割」	
	13:00～ 16:00	植物の繁殖技術 (野菜・花卉研究室, 果樹研究室)	おいしい肉を食べるには？ (畜産研究室, 高原農場)
7月26日 (木)	9:00～ 12:00	搾乳から乳加工まで (畜産研究室, 高原農場)	大豆の栽培と加工 (作物・機械研究室)
	13:00～ 16:00	おいしい肉を食べるには？ (畜産研究室, 高原農場)	植物の繁殖技術 (野菜・花卉研究室, 果樹研究室)

7月27日 (金)	9:00～ 12:00	大豆の栽培と加工 (作物・機械研究室)	搾乳から乳加工まで (畜産研究室, 高原農場)
	13:00～ 16:00	総括・討論会, 閉講式	

2002年

- 1)テーマ：体験！農業と食料・環境問題
 - 農業体験を教育に活かしませんか -
- 2)講師：農場教官および技官
- 3)受講者：小中高校教諭 (24名)
- 4)日程：2002年7月24日～26日 (2泊3日の合宿形式)

実施日程

月日	時間	1班	2班
7月24日 (水)	9:00～ 11:10	受付, 開講式, 実習内容説明, 宿泊案内, 農場案内	
	11:15～ 12:00	オープニングレクチャー 「動物, 植物, そして人とのつながり」	
	13:00～ 16:00	おいしい肉を食べるには? (畜産研究室, 高原農場)	環境保全型水田に入る (作物・機械研究室)
7月25日 (木)	9:00～ 12:00	果樹の繁殖 (果樹研究室, 蔬菜・花卉研究室)	耕耘って何? (作物・機械研究室)
	13:00～ 16:00	環境保全型水田に入る (作物・機械研究室)	おいしい肉を食べるには? (畜産研究室, 高原農場)
7月26日 (金)	9:00～ 12:00	耕耘って何? (作物・機械研究室)	果樹の繁殖 (蔬菜・花卉研究室, 果樹研究室)
	13:00～ 16:00	総括・討論会, 閉講式	

2003年

- 1)テーマ：体験！農業と食料・環境問題
 - 農業体験を教育とネットワークづくりに活かしませんか -
- 2)講師：農場教官および技官
- 3)受講者：小中高校教諭ならびに一般募集の社会人・学生 (計24名)
- 4)日程：2003年7月30日～8月1日 (2泊3日の合宿形式)

実施日程

月日	時間	1班	2班
7月30日 (水)	9:00～ 10:15	受付, 開講式, 実習内容説明, 宿泊案内	
	10:30～ 11:20	オープニングレクチャー 「農業と生活環境」	
	11:20～ 12:00	農場案内	
	13:00～ 16:00	おいしい肉を食べるには (畜産研究室, 高原農場)	ダイズの加工 (作物・機械研究室)
7月31日 (木)	9:00～ 12:00	乳牛に親しむ (畜産研究室, 高原農場)	園芸植物の繁殖技術 (蔬菜・花卉研究室, 果樹研究室)
	13:00～ 16:00	ダイズの加工 (作物・機械研究室)	おいしい肉を食べるには (畜産研究室, 高原農場)

8月1日 (金)	9:00～ 12:00	園芸植物の繁殖技術 (蔬菜・花卉研究室, 果樹研究室)	乳牛に親しむ (畜産研究室, 高原農場)
	13:00～ 16:00	討論会・総括, 閉講式	

2.サマーキャンプ

一般家族を対象に高原農業実験実習場に宿泊して、久住高原の豊かな自然の中で、牛の世話や草地内の散策を楽しみながら、自然環境と農業に対する社会的な理解を広げることを目的として行っている。また、地域との交流も行っている。企画、運営は例年、農学部および他大学の院生、学生のボランティアを中心に行う。

2000年：第5回「九州大学久住高原牧場サマーキャンプ」を8月3日(木)～8月6日(日)の3泊4日の日程で開催した。参加者は10家族30名で、ボランティアスタッフは教職員が4名および学生22名であった。

2001年：第6回「九州大学久住高原牧場サマーキャンプ」を8月2日(木)～8月5日(日)の3泊4日の日程で開催した。参加者は11家族、33名であった。ボランティアスタッフは教職員が7名、学生が39名であった。

2002年：第7回「九州大学久住高原牧場サマーキャンプ」を8月1日(木)～8月4日(日)の3泊4日の日程で開催した。参加者は7家族、1グループ(高校生)の27名であった。ボランティアスタッフは教職員が7名、学生が31名であった。

2003年：第8回「九州大学久住高原牧場サマーキャンプ」を7月31日(木)～8月3日(日)の3泊4日の日程で開催した。参加者は9家族、28名であった。ボランティアスタッフは教職員が7名、学生が34名であった。

3.その他

1) 講演

中司敬. JAふくれん営農支援センター講演「新世紀の農業生産システムの開発にかかわろう」2001年2月

後藤貴文. 和牛骨格筋の組織化学的構築. 第97回日本畜産学会大会(京都)シンポジウムプロシーディングス”21世紀の畜産学研究の方向と展望-骨格筋と肉のフォーラム-”35-39. 2000.

後藤貴文. 果樹園跡地の未利用草資源を利用した牛肉生産システムの再構築戦略. 西日本畜畜学会・日本草地学会九州支部・九州沖繩農業試験研究推進会議畜産草地推進部会共催シンポジウム(大分), 2002年10月.

後藤貴文. 和牛骨格筋の組織化学的特質と産肉能力. 2001年3月28日. 第98回日本畜産学会(仙台), 日本畜産学会賞受賞講演.

後藤貴文. 草資源を活用した良質牛肉生産システム. 2003年12月. 地方特定品種生産流通強化対策事業生産技術研修会(全国農業共同組合連合会, 高知県本部主催)(高知)

2) シンポジウムの開催

動物生命科学シンポジウム・サマースクール(食料生産・医療・環境修復を担う動物科学の構築)第7回「次世代のための新規動物科学の創造」Creation of Novel-Animal Science for Next Generation
期日: 8月20日(火)～21日(水)

会場: 国民宿舎久住高原荘および高原農業実験実習場

動物生命科学シンポジウム・サマースクール「Creation of Novel-Animal Sciences for Next Generation」を開催します。このシンポジウムは「次世代のためにいかなる動物科学が創造できるのか」というテーマに関して動物生命科学を学ぶ学生を中心として、考え学ぶシンポジウムであった。異なる分野の方々の講演と学生のポスターセッションによる発表を行った。全国より約100名(研究者と学生)があった。日本学術振興会科学研究費補助金・学術創成研究費(代表: 京都大学・眞鍋昇)および九州大学後援会学術講演会開催助成事業費(代表: 九州大学・後藤貴文)を受けて行われた。

3)制作・発行

中司敬. 活動の手引きの制作・発行 CD-ROM 版「穂先タケノコを採って里山の自然を守ろう」